

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
4 環境を守り育てる産業の振興					
1	企画振興部	農山漁村ツーリズム推進事業	継続	3,564 (0)	本県のグリーンツーリズムを推進するため、各種研修会やガイド本作成による情報発信などを図る。
2	企画振興部	豊後大野観光魅力アップ対策事業	継続	1,928 (0)	豊後大野市への誘客促進のため、日本ジオパークをはじめとした豊かな地域資源を活用した旅行商品の造成やそれらを物語ることのできるガイド養成などにより、地域経済の活性化を図る。(地域課題解決枠【豊肥局】)
3	企画振興部	ユネスコエコパーク推進エリア魅力発信事業	新規	2,252 (867)	東九州自動車道の開通により交通量が減少した国道326号沿いの里エリアの活性化を図るとともに、「祖母傾ユネスコエコパーク」の登録を目指す上で、独自の「自然・人・食・文化」の魅力を発信する。(地域課題解決枠【南部局】)
4	商工労働部	中小企業金融対策費(地域産業振興資金・環境保全対策融資)	継続	188,096 (99,000)	大気汚染、水質汚濁などの処理施設等、環境保全のための施設設置やエネルギー対策として新エネルギー施設等を導入する中小企業を支援するため貸付原資を金融機関に預託する。
5	商工労働部	循環型環境産業創出事業 (産廃税基金 75,929)	継続	75,929 (40,695)	循環型社会の形成に向け、産業廃棄物を地域資源として活用する循環型産業を育成するため、事業者が行う発生抑制、減量化及び再生利用に必要な設備や機器の導入に対し支援する。今年度は既に1次公募を終了(事業採択4件)。8月末まで2次公募を実施予定。 また、県内の環境関連企業を対象に環境ビジネス支援セミナーを開催する(4回)。
6	商工労働部	コンビナート企業国際競争力強化対策事業	継続	1,882 (1,690)	コンビナート立地企業の国際競争力強化を図るため、大分コンビナート競争力強化ビジョンに沿ってコンビナート内のエネルギー・副生物の最適化などについて検討する。

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
7	商工労働部	エネルギー関連産業成長促進事業 (再掲)	継続	43,602 (10,000)	<p>本県の強みを生かしたエネルギー関連産業の集積を加速化するとともに、有望分野への新たな取組へと連鎖させることで、県内エネルギー関連産業の躍進を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地熱や小水力分野における販路開拓の支援 ・コンビナートで発生する副生水素や電力自由化、小風力分野に関する研究開発 <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの研究開発の募集、可能性調査支援 ・会員企業が開発した新技術・製品の展示会出展支援 ・エネルギー産業会の最新情報提供行うセミナーの開催 ・省エネに関する県内事業者向けセミナーを開催 ・新エネや省エネなどに対する国の補助金を効果的に活用するため、省エネ・新エネコーデイナーを配置
8	農林水産部	耕作放棄地再生支援事業 (再掲)	継続	4,470 (0)	耕作放棄の解消を図るため、農業参入企業等の農地再生経費を支援する。
9	農林水産部	集落営農構造改革対策事業 (再掲)	新規	42,274 (5,815)	集落営農法人の経営力強化や担い手不在集落など地域農業を総合的にサポートする組織の設立・運営の支援により農村景観の保全等を図る。
10	農林水産部	GAP実践農業者支援事業	継続	1,151 (302)	<p>マーケットニーズのあるGAPの導入を企業の農家や広域的な部会の生産者に対して図り、有利販売につなげる。また、GAPを実践する意義や利点について、生産者のみならず消費者にも広く理解してもらい、社会全体でGAPに取り組む気運を高める。</p> <p>【取組内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 普及・標準GAPの導入支援 <ul style="list-style-type: none"> ・JGAP基礎研修受講補助 (5名) ・JGAP等認証取得支援 (6件) 2 部会・参入企業へのGAP実践支援 <ul style="list-style-type: none"> ・外部コンサルによるGAP現地研修 (2回) 3 GAP普及推進・指導体制強化 <ul style="list-style-type: none"> グローバルGAP研修 (1名) JGAP基礎研修 (7名)
11	農林水産部	環境に配慮した農業定着化推進事業(再掲)	新規	30,658 (246)	環境に配慮した農業生産を推進するため、環境保全型農業直接支払交付金やIPM(総合的病害虫・雑草管理)技術の導入に取り組むとともに、有機農業の取組を拡大する。

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
12	農林水産部	土壌保全推進事業	継続	3,450 (0)	土壌の維持管理を適正に行うため、土壌診断体制の整備や土壌管理に対する指導を行うとともに土壌汚染対策の検討を行う。
13	農林水産部	安全・安心な商品づくり推進事業	継続	30,637 (3,851)	安全・安心な商品を供給するため、「安心いちばんおいた産農産物認証制度」等による残留農薬の検査の実施や直売所の指導強化を行う。
14	農林水産部	中山間地域等直接支払事業（再掲）	継続	1,764,871 (23,165)	中山間地域での農業生産や耕作放棄防止、水路・農道の管理等に取り組む農業者等に対する直接支払により、農業生産活動等の維持・増進を図る。
15	農林水産部	県産豚競争力強化対策事業 (農場HACCP推進)	新規	734 (160)	安全・安心な商品を供給するため、畜産農場における危害要因(微生物、化学物質、異物など)を防止し衛生管理を向上する「農場HACCP」の取組を推進する。
16	農林水産部	農業農村多面的機能支払事業（再掲）	継続	1,005,378 (832,432)	地域共同で行う、農業の多面的機能を支える活動や、地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る活動を支援する。 (取組面積25,000ha)
17	農林水産部	環境にやさしい農業農村整備推進事業 (農地諸費)（再掲）	継続	415 (0)	生態系や景観に配慮した事業を推進するため、有識者による環境情報協議会を開催し、環境にやさしい農業農村整備事業の計画を策定する。
18	農林水産部	沿岸漁場基盤整備事業 (水産基盤整備調査事業)	継続	32,115 (12,889)	8月末までに、ヒジキ資源の増大を図るための増殖礁の選定・設置場所を地元と協議して決定した。また、県内18活動組織が、藻場・干潟の機能保全のための母藻の設置、干潟の造成、耕うん、モニタリング調査等に取り組む。

平成28年度環境関連事業一覧

(単位：千円)

番号	部局名	事業名	事業区分	28当初予算額 (H28.8月執行済額)	事業内容及び取組状況
19	農林水産部	水産資源管理実践支援事業	継続	(62,063 61,420)	種苗放流効果を高めるとともに資源の増大を図るため、公的規制及び資源管理計画策定による資源管理を実践する漁業者に対し、県内各海域でクルマエビ、マコガレイなどの放流支援を行う。
20	農林水産部	戦略魚種ハモ資源管理対策事業	新規	(2,802 200)	ハモの良好な資源状況を維持するため、各海域でのハモ資源の分布、資源量、産卵時期等の調査を実施する。
21	農林水産部	アサリ増養殖推進事業	継続	(8,219 2,000)	貝類資源の維持・増大に向け、増養殖技術を確立する。
小計	21事業			3,306,490 (1,094,732)	